

2,000倍希釈液を計3回散布(200L/10a)したところ、散布後7~21日の最大残留量は<0.005 ppmであった。ただし、この試験は適用範囲内で行われていない。

さといも(塊茎)を用いた作物残留試験(1例)において、10%フロアブルの2,000倍希釈液を計2回散布(200L/10a)したところ、散布後7~14日の最大残留量は0.006 ppmであった。

さといも(葉柄)を用いた作物残留試験(2例)において、10%フロアブルの2,000倍希釈液を計2回散布(200L/10a)したところ、散布後3~14日の最大残留量は0.50、0.08 ppmであった。

㊸ アスパラガス

アスパラガス(茎)を用いた作物残留試験(2例)において、10%フロアブルの2,000倍希釈液を計2回散布(300L/10a)したところ、散布後1~7日の最大残留量は0.20、0.02 ppmであった。

㊹ ふき

ふき(葉柄)を用いた作物残留試験(2例)において、10%フロアブルの2,000倍希釈液を計2回散布(150L/10a)したところ、散布後7~21日の最大残留量は0.22、0.34 ppmであった。

㊺ いちじく

いちじく(可食部)を用いた作物残留試験(2例)において、10%フロアブルの2,000倍希釈液を計2回散布(200L/10a)したところ、散布後1~7日の最大残留量は0.20、0.48 ppmであった。

いちじく(可食部)を用いた作物残留試験(1例)において、10%フロアブルの2,000倍希釈液を計2回散布(200L/10a)したところ、散布後1~7日の最大残留量は0.45 ppmであった。

㊻ すいか

すいか(果肉)を用いた作物残留試験(2例)において、10%フロアブルの2,000倍希釈液を計2回散布(200L/10a)したところ、散布後1~7日の最大残留量は<0.01、<0.01 ppmであった。ただし、これらの試験は適用範囲内で行われていない。

㊼ こまつな

こまつな(茎葉)を用いた作物残留試験(2例)において、10%フロアブルの2,000倍希釈液を1回散布(200L/10a)したところ、散布後3~21日の最大残留量は2.84、2.28 ppmであった。

こまつな(茎葉)を用いた作物残留試験(1例)において、10%フロアブルの2,000倍希釈液を1回散布(200L/10a)したところ、散布後7~14日の最大残留量

は 1.22 ppm であった。

③③みょうが

みょうが（花穂）を用いた作物残留試験（2 例）において、10%フロアブルの 2,000 倍希釈液を計 2 回散布（300L/10a）したところ、散布後 1～7 日の最大残留量は <0.05、<0.05 ppm であった。

③④ししとう

ししとう（果実）を用いた作物残留試験（2 例）において、10%フロアブルの 2,000 倍希釈液を計 2 回散布（200L/10a）したところ、散布後 1～7 日の最大残留量は 0.90、2.35 ppm であった。

ししとう（果実）を用いた作物残留試験（2 例）において、10%フロアブルの 4,000 倍希釈液を計 2 回散布（300L/10a）したところ、散布後 1～7 日の最大残留量は 0.42、0.27 ppm であった。

③⑤伏見甘長とうがらし

伏見甘長とうがらし（果実）を用いた作物残留試験（2 例）において、10%フロアブルの 2,000 倍希釈液を計 2 回散布（200L/10a）したところ、散布後 1～7 日の最大残留量は 0.51、0.68 ppm であった。

③⑥モロヘイヤ

モロヘイヤ（茎葉）を用いた作物残留試験（2 例）において、10%フロアブルの 2,000 倍希釈液を 1 回散布（260, 160L/10a）したところ、散布後 14～21 日の最大残留量は 0.36、0.16 ppm であった。

③⑦あしたば

あしたば（茎葉）を用いた作物残留試験（2 例）において、10%フロアブルの 2,000 倍希釈液を計 2 回散布（300L/10a）したところ、散布後 7～14 日の最大残留量は 0.6、<0.3 ppm であった。

③⑧カリフラワー

カリフラワー（花蕾）を用いた作物残留試験（1 例）において、10%フロアブルの 2,000 倍希釈液を計 2 回散布（300L/10a）したところ、散布後 3～14 日の最大残留量は 0.38 ppm であった。

カリフラワー（花蕾）を用いた作物残留試験（1 例）において、10%フロアブルの 2,000 倍希釈液を計 2 回散布（380L/10a）したところ、散布後 3～13 日の最大残留量は 0.154 ppm であった。ただし、この試験は適用範囲内で行われていない。

③⑨ やまのいも

やまのいも（塊茎）を用いた作物残留試験（2例）において、10%フロアブルの2,000倍希釈液を計2回散布（300, 500L/10a）したところ、散布後1～7日の最大残留量は<0.01、<0.01 ppmであった。ただし、500L/10a散布された試験は適用範囲内で行われていない。

やまのいも（むかご）を用いた作物残留試験（2例）において、10%フロアブルの2,000倍希釈液を計2回散布（500L/10a）したところ、散布後3～14日の最大残留量は0.57、0.66 ppmであった。ただし、これらの試験は適用範囲内で行われていない。

④⑩ かんしょ

かんしょ（塊茎）を用いた作物残留試験（2例）において、10%フロアブルの2,000倍希釈液を計2回散布（200L/10a）したところ、散布後1～7日の最大残留量は<0.01、<0.01 ppmであった。

④⑪ はすいも

はすいも（葉柄）を用いた作物残留試験（1例）において、10%フロアブルの2,000倍希釈液を計2回散布（200L/10a）したところ、散布後1～7日の最大残留量は0.06 ppmであった。

はすいも（葉柄）を用いた作物残留試験（1例）において、10%フロアブルの2,000倍希釈液を計2回散布（300L/10a）したところ、散布後1～7日の最大残留量は0.08 ppmであった。

④⑫ ひろしまな

ひろしまな（茎葉）を用いた作物残留試験（2例）において、10%フロアブルの2,000倍希釈液を計2回散布（150L/10a）したところ、散布後3～14日の最大残留量は1.06、2.74 ppmであった。

④⑬ ネクタリン

ネクタリン（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、10%フロアブルの2,000倍希釈液を計2回散布（400, 600L/10a）したところ、散布後7～14日の最大残留量は0.28、0.45 ppmであった。

④⑭ さんしょう

さんしょう（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、10%フロアブルの4,000倍希釈液を計2回散布（300L/10a）したところ、散布後7～28日の最大残留量は0.72、0.56 ppmであった。

④⑤ サラダ菜

サラダ菜（茎葉）を用いた作物残留試験（2例）において、10%フロアブルの2,000倍希釈液を計2回散布（260, 300L/10a）したところ、散布後3～14日の最大残留量は7.58、4.38 ppmであった。

サラダ菜（茎葉）を用いた作物残留試験（2例）において、10%フロアブルの2,000倍希釈液を計2回散布（300L/10a）したところ、散布後3～14日の最大残留量は4.88、11.6 ppmであった。

④⑥ リーフレタス

リーフレタス（茎葉）を用いた作物残留試験（2例）において、10%フロアブルの2,000倍希釈液を計2回散布（300L/10a）したところ、散布後3～14日の最大残留量は2.84、6.14 ppmであった。

リーフレタス（茎葉）を用いた作物残留試験（2例）において、10%フロアブルの2,000倍希釈液を計2回散布（300L/10a）したところ、散布後3～14日の最大残留量は11.0、5.66 ppmであった。

④⑦ ミニトマト

ミニトマト（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、10%フロアブルの2,000倍希釈液を計2回散布（300, 200L/10a）したところ、散布後1～14日の最大残留量は0.20、0.12 ppmであった。

④⑧ かぶ

かぶ（葉部）を用いた作物残留試験（2例）において、10%フロアブルの2,000倍希釈液を計2回散布（200L/10a）したところ、散布後1～14日の最大残留量は9.60、4.66 ppmであった。

かぶ（根部）を用いた作物残留試験（2例）において、10%フロアブルの2,000倍希釈液を計2回散布（200L/10a）したところ、散布後1～14日の最大残留量は0.02、0.05 ppmであった。

かぶ（葉部）を用いた作物残留試験（2例）において、10%フロアブルの2,000倍希釈液を計2回散布（200L/10a）したところ、散布後1～21日の最大残留量は9.52、5.36 ppmであった。

かぶ（根部）を用いた作物残留試験（2例）において、10%フロアブルの2,000倍希釈液を計2回散布（270L/10a）したところ、散布後1～21日の最大残留量は0.02、0.04 ppmであった。

④⑨ 未成熟えんどう

未成熟えんどう（さや）を用いた作物残留試験（2例）において、10%フロアブルの2,000倍希釈液を計2回散布（200, 460L/10a）したところ、散布後1～7日

の最大残留量は0.58、0.96 ppmであった。ただし、460L/10a 散布された試験は適用範囲内で行われていない。

⑩すいぜんじな

すいぜんじな（葉茎）を用いた作物残留試験（2例）において、10%フロアブルの2,000倍希釈液を計2回散布（200L/10a）したところ、散布後1～14日の最大残留量は11.2、4.0 ppmであった。

⑪非結球芽キャベツ

非結球芽キャベツ（えき芽葉）を用いた作物残留試験（2例）において、10%フロアブルの2,000倍希釈液を計2回散布（200L/10a）したところ、散布後7～21日の最大残留量は0.38、0.24 ppmであった。

非結球芽キャベツ（本葉）を用いた作物残留試験（2例）において、10%フロアブルの2,000倍希釈液を計2回散布（200L/10a）したところ、散布後7～21日の最大残留量は4.62、5.82 ppmであった。

⑫みずな

みずな（可食部）を用いた作物残留試験（2例）において、10%フロアブルの2,000倍希釈液を1回散布（100L/10a）したところ、散布後3～14日の最大残留量は1.28、4.86 ppmであった。

⑬山東菜

山東菜（茎葉）を用いた作物残留試験（2例）において、10%フロアブルの2,000倍希釈液を1回散布（300L/10a）したところ、散布後3～14日の最大残留量は0.88、1.96 ppmであった。

⑭茎ブロッコリー

茎ブロッコリー（花蕾と花茎）を用いた作物残留試験（2例）において、10%フロアブルの2,000倍希釈液を計2回散布（200L/10a）したところ、散布後1～14日の最大残留量は0.39、0.72 ppmであった。

⑮なばな

なばな（茎葉）を用いた作物残留試験（2例）において、10%フロアブルの2,000倍希釈液を計2回散布（300L/10a）したところ、散布後7～14日の最大残留量は0.96、0.95 ppmであった。

⑯マンゴー

マンゴー（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、10%フロアブルの2,000倍希釈液を計2回散布（300L/10a）したところ、散布後14～30日の最大残留量は0.085、0.080 ppmであった。

⑤7 ゴレンシ

ゴレンシ（可食部）を用いた作物残留試験（2例）において、10%フロアブルの2,000倍希釈液を計2回散布（300L/10a）したところ、散布後14～30日の最大残留量は0.74、0.74 ppmであった。

⑤8 芽キャベツ

芽キャベツ（脇芽）を用いた作物残留試験（2例）において、10%フロアブルの2,000倍希釈液を計2回散布（200L/10a）したところ、散布後7～21日の最大残留量は<0.05、0.08 ppmであった。

⑤9 葉にんにく

葉にんにく（葉と鱗茎）を用いた作物残留試験（2例）において、10%フロアブルの2,000倍希釈液を1回散布（200-220, 167L/10a）したところ、散布後14日の最大残留量は0.22、0.14 ppmであった。

⑥0 みつば

みつば（茎葉）を用いた作物残留試験（2例）において、10%フロアブルの2,000倍希釈液を1回散布（100L/10a）したところ、散布後14日の最大残留量は1.3、0.8 ppmであった。

⑥1 セルリー

セルリー（茎葉）を用いた作物残留試験（2例）において、10%フロアブルの2,000倍希釈液を計2回散布（167, 300L/10a）したところ、散布後14日の最大残留量は1.39、1.36 ppmであった。

⑥2 コリアンダー

コリアンダー（茎葉）を用いた作物残留試験（2例）において、10%フロアブルの2,000倍希釈液を計2回散布（150, 200L/10a）したところ、散布後14～21日の最大残留量は1.50、1.48 ppmであった。

⑥3 にがうり

にがうり（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、10%フロアブルの2,000倍希釈液を計2回散布（200L/10a）したところ、散布後1～7日の最大残留量は0.4、0.2 ppmであった。

⑥4 エンサイ

エンサイ（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、10%フロアブルの2,000倍希釈液を計2回散布（200L/10a）したところ、散布後3～14日の最大残留量は<0.05、0.91 ppmであった。

⑥⑤やなぎたで

やなぎたで（茎葉）を用いた作物残留試験（2例）において、10%フロアブルの2,000倍希釈液を計2回散布（150L/10a）したところ、散布後14～21日の最大残留量は1.45、0.55 ppmであった。

⑥⑥つわぶき

つわぶき（可食部）を用いた作物残留試験（2例）において、10%フロアブルの2,000倍希釈液を計2回散布（300L/10a）したところ、散布後14～30日の最大残留量は0.058、0.052 ppmであった。

⑥⑦食用ぎく

食用ぎく（花全体）を用いた作物残留試験（2例）において、10%フロアブルの2,000倍希釈液を計2回散布（200, 493L/10a）したところ、散布後7～14日の最大残留量は0.390、1.008 ppmであった。ただし、493L/10a散布された試験は適用範囲内で行われていない。

⑥⑧食用プリムラ

食用プリムラ（花器全体）を用いた作物残留試験（2例）において、10%フロアブルの2,000倍希釈液を計2回散布（150L/10a）したところ、散布後14～21日の最大残留量は0.57、0.62 ppmであった。

⑥⑨かぼちゃ

かぼちゃ（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、10%フロアブルの2,000倍希釈液を計2回散布（300L/10a）したところ、散布後1～7日の最大残留量は0.06、0.12 ppmであった。

⑥⑩バナナ

バナナ（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、10%フロアブルの2,000倍希釈液を計2回散布（200L/10a）したところ、散布後14～21日の最大残留量は0.28、0.83 ppmであった。

⑥⑪よもぎ

よもぎ（葉）を用いた作物残留試験（2例）において、10%フロアブルの2,000倍希釈液を1回散布（200-300, 200L/10a）したところ、散布後3～14日の最大残留量は3.93、4.94 ppmであった。

これらの試験結果の概要については、別紙1-1、海外で実施された作物残留試験成績の結果の概要については、別紙1-2を参照。

注)最大残留量：当該農薬の申請の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験（いわゆる最大使用条件下の作物残留試験）を実施し、それぞれの試験から得られた残留量。

(参考：平成10年8月7日付「残留農薬基準設定における暴露評価の精密化に関する意見具申」)

7. 乳牛における残留試験

乳牛に対して飼料中濃度としてクロルフェナピル 0、0.66、2.19、6.81ppm に相当する量のクロルフェナピルを28日間にわたり経口投与し、乳、筋肉、脂肪、肝臓及び腎臓に含まれるクロルフェナピル含量を測定した。(定量限界：筋肉、脂肪及び乳：0.01ppm、肝臓及び腎臓：0.05ppm)。結果については表1参照。

上記の結果に関連して、オーストラリアでは、乳牛、羊及び豚における最大理論的飼料由来負荷 (MTDB) ^{注)}はいずれも0.47ppmと評価している。

表1. 組織中の最大残留 (ppm)

	0.66ppm 投与群	2.19ppm 投与群	6.81ppm 投与群
筋肉	<0.01	<0.01-0.017	<0.01-0.022
脂肪	0.031-0.067	0.165-0.429	0.153-0.597
肝臓	<0.05	<0.05	<0.05
腎臓	<0.05	<0.05	<0.05
乳	<0.01	<0.01-0.035	<0.01-0.042

注) 最大理論的飼料由来負荷 (Maximum Theoretical Dietary Burden : MTDB) : 飼料として用いられる全ての飼料品目に残留基準まで残留していると仮定した場合に、飼料の摂取によって畜産動物が暴露されうる最大量。飼料中残留濃度として表示される。

(参考：Residue Chemistry Test Guidelines OPPTS 860.1480 Meat/Milk/Poultry/Eggs)

8. 産卵鶏における残留試験

産卵鶏に対してフェニル環を均等に標識したクロルフェナピル (Phe-¹⁴C) またはピロール環の2位を標識したクロルフェナピル (Pyr-¹⁴C) を7日間にわたりカプセル経口投与 (低用量群：0.22mg/kg 体重 (飼料中3.02~3.10ppm相当))、高用量群：1.1mg/kg 体重 (同14.42~15.04ppm相当)) し、筋肉、脂肪、肝臓及び腎臓に含まれる総残留放射能濃度及び液体クロマトグラフ (MSD) を用いてクロルフェナピルについて測定を行った (定量限界：0.01ppm)。また、鶏卵についても投与開始後1~7日に採卵し総残留放射能濃度及びクロルフェナピルについて分析した。詳細については表2参照。

上記の結果に関連して、オーストラリアではMTDBを0.44ppmと評価している。

表 2. 組織中のクロルフェナピルの最大残留 (ppm)

	Phe- ¹⁴ C		Pyr- ¹⁴ C	
	低用量	高用量	低用量	高用量
筋肉	<0.01	0.01	<0.01	<0.01
脂肪	0.04	0.39	0.07	0.29
肝臓	<0.01	0.04	<0.01	0.03
腎臓	0.02	0.05	<0.01	0.04
鶏卵	0.03	0.17	0.03	0.16

9. ADI の評価

食品安全基本法（平成 15 年法律第 48 号）第 24 条第 1 項第 1 号の規定に基づき、平成 17 年 10 月 4 日付け厚生労働省発食安第 1004002 号及び同法第 24 条第 2 項の規定に基づき、平成 18 年 7 月 18 日付け厚生労働省発食安第 0718029 号により食品安全委員会あて意見を求めたクロルフェナピルに係る食品健康影響評価について、以下のとおり評価されている。

無毒性量：2.6 mg/kg 体重/day

（動物種） ラット

（投与方法） 混餌投与

（試験の種類） 慢性神経毒性試験

（期間） 1 年間

安全係数：100

ADI：0.026 mg/kg 体重/day

10. 諸外国における使用状況

JMPR における毒性評価はなされておらず、国際基準も設定されていない。

米国、カナダ、欧州連合（EU）、オーストラリア及びニュージーランドについて調査した結果、米国においてなす科野菜に、EUにおいて大麦、野菜類等に、オーストラリアにおいてりんご、畜産物等に基準値が設定されている。

11. 基準値案

(1) 残留の規制対象

クロルフェナピル本体のみ

一部の作物残留試験において代謝物PY及び代謝物M4Hの分析が行われているが、代謝物PY及び代謝物M4Hの残留はクロルフェナピルの残留に比べて十分に低いことから、規制対象物質としては含めないこととする。

なお、食品安全委員会によって作成された農薬評価書においては、暴露評価対象物質としてクロルフェナピルを設定している。

(2) 基準値案

別添 2 のとおりである。

(3) 暴露評価

各食品について、本薬が基準値案の上限の量まで残留していると仮定した場合、国民栄養調査結果に基づき試算される、1日当たり摂取する農薬の量（推定一日摂取量（EDI））のADIに対する比は、以下のとおりである。詳細な暴露評価は別紙 3 参照。

なお、本暴露評価は、各食品分類において、加工・調理による残留農薬の増減が全くないとの仮定の下におこなった。

	EDI / ADI (%) ^{注)}
国民平均	21.2
幼小児 (1~6 歳)	37.4
妊婦	18.6
高齢者 (65 歳以上)	23.5

注) 個別の作物残留試験成績がある食品についてはEDI 試算、それ以外の食品についてはTMDI 試算を行った。

TMDI 試算は基準値案×摂取量の総和として計算している。EDI 試算は作物残留試験成績の平均値×摂取量の総和として計算している。

(4) 本剤については、平成 17 年 11 月 29 日付け厚生労働省告示第 499 号により、食品一般の成分規格 7 に食品に残留する量の限度（暫定基準）が定められているが、今般、残留基準の見直しを行うことに伴い、暫定基準は削除される。

クロルフェナピル国内作物残留試験一覧表

農作物	試験圃 場数	試験条件				最大残留量 (ppm) 【クロルフェナピル】
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
りんご※ (果実)	2	10%フロアブル	2000倍散布 500L/10a	2回	21, 28, 42日	圃場A:0.291 (2回、21日) 圃場B:0.108 (2回、21日)
りんご※ (果実)	2	10%フロアブル	2000倍散布 500L/10a	2回	3, 7, 14日	圃場A:0.38 (2回、14日) 圃場B:0.420 (2回、7日)
りんご※ (果実)	2	10%フロアブル	2000倍散布 400, 600L/10a	2回	1, 7, 21日	圃場A:0.60 (2回、7日) 圃場B:0.69
だいこん (根部)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	2回	14, 21日	圃場A:0.014 圃場B:0.02
だいこん (葉部)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	2回	14, 21日	圃場A:0.27 圃場B:1.42
キャベツ※ (葉球)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A:0.124 圃場B:0.22
なす※ (果実)	2	10%フロアブル	2000倍散布 300, 200L/10a	2回	1, 3, 7日	圃場A:0.324 圃場B:0.164
きゅうり (果実)	2	10%フロアブル	2000倍散布 300L/10a	2回	1, 3, 7日	圃場A:0.166 圃場B:0.118
はくさい (茎葉)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A:0.14 (2回、14日) 圃場B:0.09
茶※ (荒茶)	2	10%フロアブル	2000倍散布 400L/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A:30.8 圃場B:15.8
茶 (浸出液)	2	10%フロアブル	2000倍散布 400L/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A:0.36 圃場B:0.22
茶※ (荒茶)	2	10%フロアブル	2000倍散布 400L/10a	1回	7, 14, 21日 7, 14日	圃場A:20.3 圃場B:28.6
茶 (浸出液)	2	10%フロアブル	2000倍散布 400L/10a	1回	7, 14, 21日 7, 14日	圃場A:0.38 圃場B:0.64
かき※ (果実)	2	10%フロアブル	2000倍散布 500L/10a	2回	14, 21, 28日	圃場A:0.39 圃場B:0.14
いちご (果実)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	2回	22日 57日	圃場A:0.04 (2回、22日) 圃場B:0.03 (2回、57日)
いちご※ (果実)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200, 250L/10a	2回	1, 3, 7日	圃場A:0.30 圃場B:1.54
なし (果実)	2	10%フロアブル	2000倍散布 500L/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A:0.35 圃場B:0.28
レタス (茎葉)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A:0.21 圃場B:0.09
てんさい※ (根部)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A:0.12 (2回、14日) 圃場B:0.05 (2回、14日)
ブロッコリー※ (花蕾)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A:0.174 圃場B:0.420
みかん (果肉)	2	10%フロアブル	2000倍散布 500L/10a	2回	1, 3, 7日	圃場A:0.07 圃場B:0.03
みかん (果皮)	2	10%フロアブル	2000倍散布 500L/10a	2回	1, 3, 7日	圃場A:2.24 圃場B:0.74
みかん (果肉)	2	10%フロアブル	33.3倍常温煙霧 10L/10a	2回	1, 3, 7日	圃場A:<0.02 圃場B:<0.02
みかん※ (果皮)	2	10%フロアブル	33.3倍常温煙霧 10L/10a	2回	1, 3, 7日	圃場A:3.90 (2回、3日) 圃場B:1.69
なつみかん (果実全体)	2	10%フロアブル	2000倍散布 500L/10a	2回	1, 3, 7日	圃場A:0.35 (2回、7日) 圃場B:0.73 (2回、3日)
なつみかん (果肉)	2	10%フロアブル	2000倍散布 500L/10a	2回	1, 3, 7日	圃場A:<0.01 圃場B:<0.01

農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量 (ppm) 【クロルフェナビル】
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
なつみかん (果皮)	2	10%フロアブル	2000倍散布 500L/10a	2回	1, 3, 7日	圃場A:1.14 (2回、7日) 圃場B:2.32 (2回、3日)
ゆず (果実)	2	10%フロアブル	2000倍散布 500L/10a	2回	1, 3, 7日	圃場A:0.26 (2回、3日) 圃場B:0.48 (2回、7日)
もも (果肉)	2	10%フロアブル	2000倍散布 500L/10a	2回	1, 3, 7日 1, 3日	圃場A:<0.01 圃場B:<0.01
もも (果皮)	2	10%フロアブル	2000倍散布 500L/10a	2回	1, 3, 7日 1, 3日	圃場A:3.52 (2回、3日) 圃場B:2.22 (2回、3日)
ピーマン (果実)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	2回	1, 3, 7日	圃場A:0.20 圃場B:0.36
チンゲンサイ (葉茎)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	1回	7, 14, 21日	圃場A:1.38 (1回、7日) 圃場B:0.52 (1回、7日)
オクラ (果実)	2	10%フロアブル	2000倍散布 150L/10a	1又は 2回	1, 2, 3日	圃場A:0.22 圃場B:0.30
おうとう※ (果実)	2	10%フロアブル	2000倍散布 500L/10a	2回	14, 21日 14, 22日	圃場A:0.32 (2回、21日) 圃場B:0.12
あずき (乾燥子実)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	2回	3, 7, 14日	圃場A:<0.01 圃場B:<0.01
葉ねぎ (茎葉)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A:1.30 圃場B:0.74
根深ねぎ (茎葉)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A:0.90 圃場B:0.82
トマト (果実)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	2回	1, 3, 7日	圃場A:0.09 圃場B:0.12 (2回、3日)
ぶどう※ (果実)	2	10%フロアブル	2000倍散布 350L/10a	2回	14, 21, 30日	圃場A:0.08 (2回、30日) 圃場B:0.84 (2回、30日)
ぶどう (果実)	2	10%フロアブル	2000倍散布 333, 300L/10a	2回	14, 21, 30, 45日	圃場A:2.39 (2回、21日) 圃場B:0.83
ぶどう (果実)	1	10%フロアブル	40倍常温煙霧 6L/10a	2回	14, 21, 30, 45日	圃場A:0.16
ぶどう (果実)	1	10%フロアブル	85倍常温煙霧 12.8L/10a	2回	14, 21, 30日	圃場A:0.27
さといも (塊茎)	1	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	3回	7, 14, 21日	圃場A:<0.005 (3回、7日) (#)
さといも (塊茎)	1	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	2回	7, 14日	圃場A:0.006 (2回、14日)
さといも (葉柄)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	2回	3, 7, 14日	圃場A:0.50 圃場B:0.08
アスパラガス (茎)	2	10%フロアブル	2000倍散布 300L/10a	2回	1, 3, 7日	圃場A:0.20 圃場B:0.02
ふき (葉柄)	2	10%フロアブル	2000倍散布 150L/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A:0.22 圃場B:0.34
いちじく (可食部)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	2回	1, 3, 7日	圃場A:0.20 圃場B:0.48
いちじく (可食部)	1	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	2回	1, 3, 7日	圃場A:0.45
すいか (果肉)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	2回	1, 3, 7日	圃場A:<0.01 (2回、1日) (#) 圃場B:<0.01 (2回、1日) (#)
こまつな (茎葉)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	1回	3, 7, 14, 21日	圃場A:2.84 圃場B:2.28
こまつな (茎葉)	1	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	1回	7, 14日	圃場A:1.22 (1回、7日)
みょうが (花穂)	2	10%フロアブル	2000倍散布 300L/10a	2回	1, 3, 7日	圃場A:<0.05 圃場B:<0.05
ししとう※ (果実)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	2回	1, 3, 7日	圃場A:0.90 圃場B:2.35
ししとう※ (果実)	2	10%フロアブル	4000倍散布 300L/10a	2回	1, 3, 7日	圃場A:0.42 圃場B:0.27
伏見甘長とうがらし (果実)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	2回	1, 3, 7日	圃場A:0.51 (2回、3日) 圃場B:0.68